

第6章 概算費用の算出

1. 概算費用

建物概要

総合庁舎	延床面積 16,498 m ² 構造規模 鉄筋コンクリート造 3階
車庫	延床面積 2,239 m ² 構造規模 鉄筋コンクリート造 2階
保健センター	延床面積 1,563 m ² 構造規模 鉄筋コンクリート造 平屋
延床面積	20,300 m ²
敷地面積	約 35,000 m ²

項目	概算費用	備考
建築工事費	8,010,000 千円	設備工事含む
造成工事費	62,000 千円	
外構工事費	270,000 千円	
用地取得費	565,000 千円	消費税非課税
合計	8,907,000 千円	

概算工事費の算出は、平成29年秋時点の積算単価を採用しております。今後は財政事情等を考慮し、可能な限り縮減に努めていくこととします。

2. 財源計画

概算費用	財 源		
	合併特例債	庁舎等基金	一般財源
8,907,000 千円	5,765,300 千円	2,800,000 千円	341,700 千円

庁舎整備の財源として、合併特例債を活用します。合併特例債は合併市町村が活用することができる市債（借金）で、後年度に返済する元金と利子の 70%が国から地方交付税として算入される有利な市債です。なお、合併特例債は活用できる期間が定められており、宮古島市は平成 32 年度までとなっています。

また、庁舎等建設基金を活用し、一般財源の抑制を図ります。

財源については、設計段階での費用の精査と併せ、市の負担軽減に努めます。

3. ランニングコスト

項 目	概算費用 (年間)	備 考
修繕費	4,870 千円	
維持管理費	65,794 千円	保守・点検
光熱費	50,600 千円	
合 計	121,264 千円	

ランニングコストは、「平成 30 年度庁舎維持管理費要求単価」の単価に基づき算出しました。平成 28 年度決算によるランニングコストは約 183,000 千円です。

今後、設計段階において、省エネルギー対策やメンテナンス費用のかからない施設整備等、コスト削減に配慮した検討を行います。

4. 事業スケジュール

今後のスケジュールを下記に示します。平成32年度の合併特例債発行を期限として、今後の設計から移転・開庁までのスムーズな事業推進が必要になります。

